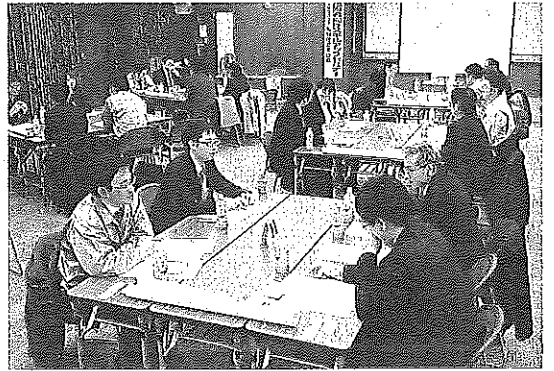


人材採用へ広報学ぶ

札幌建協がスキルアップセミナー



札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は1月31日、札幌市内の北海道建設会館で広報担当者向けスキルアップセミナーを開いた。参加者は講演やワークショップを通して、自社の強みや価値を効果的にPRする広報活動による人材の採用と定着方法などを学んだ。

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は1月31日、札幌市内の北海道建設会館で広報担当者向けスキルアップセミナーを開いた。参加者は講演やワークショップを通して、自社の強みや価値を効果的にPRする広報活動による人材の採用と定着方法などを学んだ。

札幌商工会議所との共催で、会員各社の広報や人事の担当者ら約60人が参加。同建協広報企画委員会の砂田英俊委員長代

が重要」と述べ、そのためには「共感を生む価値を自社の中から見つけることが大切」と指摘した。続けて「今あるものを徹底的に掘り下げ、探り出したオンリーワンが価値。それを学生に伝えることが、採用だけでなく定着にもつながる」と説

いた。この後、参加者がグループに分かれ、自社の価値を議論しながら思案。それぞれの代表者から「みんなの幸せを体感する」「災害から住民を守る」「社会に貢献できる」「不便なことを便利にする」などが発表された。

30.2.-1 北海道建設新聞

広報担当者向けスキルアップセミナー

人材採用と広報力学

会員企業から62人参加

札幌建協



札幌建設業協会(岩田圭剛会長)の広報企画委員会(玉川裕一委員長)は一月三十一日、道建設会館で広

報担当者向けスキルアップセミナーを開催した。会場には、会員企業から六十二人が出席した。講演では、桐光クリエティブの吉田聡子社長が「人材採用と広報力学」をテーマに解説。吉田氏は企業の価値を発信し学生の心を

吉田社長は「企業の真の価値を学生に共感提供することが大事」と語った。

吉田氏は広報の役割を、「誰かの心をつかむところにある」と定義。技術や業種を伝える情報提供ではなく、「企業の真の価値を生に共感提供することが大事。ストーリーで伝え、起承転結のところの、結から説明すると良い」とアドバイスした。

30.2.-1 北海道通信

共感採用は、人材の確保や定着につながると指摘。最近の学生の就活傾向からツールとして、使い方についてはインスタやラインが有効な広報戦略になると紹介した。

このあと、参加者は「建設企業における学生などへの魅力発信」について、グループワークを行い討議の内容を発表した。